

リレートーク

紹介者



奥田陽一氏
伊藤忠テクノソリューションズ
取締役社長



西川久仁子氏
スーパーナース
取締役社長

#154

ベンチャー経営にビジネス・スクールは役に立つ?

私は(株)スーパーナースという看護師派遣・紹介業を営むベンチャー企業の社長をしています。実は今の会社に来るまでは医療や看護のことは全く知らず、金融系の人間でした。

20代のころ米国スタンフォード大学のビジネス・スクールに留学して、MBA(経営学修士)を取得しました。

当時の日本人留学生は、バブルを反映して、日系金融機関からの企業派遣が多数でした。彼らの待遇は素晴らしく、学費はもちろんお給料は普通に出るし各種手当も付いて、当時勤めていた外資系銀行から学費だけを補助してもらっていた私は大変うらやましく思ったものです。

しかし、その後、日系金融機関の調子が悪化し、最も留学生への待遇が良かったいくつかの企業は今や名前も残っていません。結果論ですが、そこから派遣されていた人たちはMBA取得後数年で皆転職しており、企業としては投資した学費等の回収ができなかったわけです。当たり前ですが、費用対効果をよく考えてお金を使わないといけない、と今肝に銘じています。

それはさておき、当時の私はバリバリ金融志向だったので、ビジネス・スクールで取った選択科目は投資理論などの金融関係ばかりでした。しかし今になって役に立っているのは、1年生の時の必修科目だと思います。

必修科目は、会計、経済学、戦略、マーケティングなど多岐にわたっていて、ようは経営者に必要な基礎知識を、少しずつ教えてもらいました。

当時は、金融機関で働くのに例えば消費財中心のマーケティングなんて何の役に立つのかな、と愚かにも思っていました。しかし、ビジネス・スクールで幅広く学んだおかげで、今会社を経営していて、「え! そんなこと一度も聞いたことがない!」という分野は幸いほとんどありません。

もちろんビジネス・スクールなんて行かなくても(いや、むしろ行かない方が?)きちんとした経営ができる方はたくさんいらっしゃいます。でも、ビジネス・スクールでは経営者のお作法みたいなものが効率的に学べ、経営をすることが少し怖くなる、という効用があると思います。ただでさえリスクの高いベンチャー経営、恐怖が減るのはとてもありがたいことです。

次回は 柏木 斉氏(リクルート 取締役社長)にご登場いただきます。